

第3波検証のフレーム(案)

資料3

宮崎県における新型コロナ第3波への対応については、取組ごとの検証や対応策の検討が進められているが、この検証は、それら全体を俯瞰した形で総括し、分析と対応、今後の方向性をまとめることで、今後の対応に活かすことを目的とするものである。

項目	取組内容	今後の課題、対応 等
①第3波感染分析	年齢層（特に高齢者）、重症者、推定感染機会、無症状者 等	・感染機会の周知
②検査体制強化	検査・診療医療機関、民間検査機関との契約、一斉検査（都城、延岡） 等	・早期の探知
③医療提供体制	病床確保、入院調整、宿泊療養施設確保・運営、自宅療養対応 等	・病床、看護師等の確保 ・自宅療養者急増時の健康観察方法や受診調整
④飲食店等対策	ガイドライン一斉点検、店舗巡回、営業時短要請及び協力金 等	・ガイドライン遵守徹底の継続 ・県民への啓発
⑤県民への普及啓発	みやざきモデル、STOP! コロナ差別共同宣言 等	・条例化の検討、基本的な感染防止対策に係る県民への啓発
⑥市町村との連携	協力金、支援金、住民への普及啓発、保健師等派遣、ホットライン 等	・鳥フル時、ワクチン配布時における保健師等派遣体制整備
⑦高齢者施設等対策	陽性者確認後の初動対応（職員・入所者の検査、衛生用品の提供、PPE指導等）、クラスター対応（DMAT・ICN派遣、応援職員派遣）、面会制限、研修、無症状職員の検査 等	・クラスター原因分析・周知 ・無症状、些細な風邪症状、有症状者の早期検査 ・初動対応の徹底（発生施設内一斉検査等） ・人材不足への対応
⑧報道	知事記者会見、記者レク、ブリーフィング、特設サイトの更新 等	・県民の行動変容につながる情報発信の強化
⑨対応方針	圏域区分新設、県外との往来自粛、	・早期の行動要請